

市会発意第3号

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出する。

令和2年12月23日

発議者	福知山市議会議員	塩見 卯太郎
賛成者	福知山市議会議員	紀氏 百合子
〃	〃	吉見 純男

福知山市議会議長 芦田 眞弘 様

(別紙)

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

人類史上初めて核兵器の全面禁止を明文化した「核兵器禁止条約」の批准国が51か国・地域に達し、令和3年1月に条約が発効し国際法となることが事実となりました。安全保障の意味が「国家中心」から「人類中心」に大きく転換した非常に大きな出来事といえます。

福知山市も加盟する平和首長会議は、12月1日現在で世界の165の国・地域から国内の1,733都市を含む7,974都市となっており、各国に対し、同条約に署名・批准するよう訴え続けています。核兵器禁止条約は、「核兵器をなくすべきだ」という人類の意思を明確にした条約です。この条約の内容を包括的で実効性の高いものにしていくためには、核保有国をはじめ、より多くの国が条約に参加しなければなりません。

よって、国におかれては、立場の異なる国々の橋渡しに努め、各国の対話や行動を粘り強く促すことによって、核兵器のない世界の実現に向けた国際社会の取り組みをリードするよう、下記の事項に取り組みられることを強く要望いたします。

記

- 1 唯一の戦争被爆国として、一日も早く核兵器禁止条約の署名・批准を行い、それまでの間は、オブザーバーとして締約国会議及び検討会議に参加すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月23日

衆議院議長	大 島 理 森 様
参議院議長	山 東 昭 子 様
内閣総理大臣	菅 義 偉 様
外務大臣	茂 木 敏 充 様

福知山市議会議長 芦 田 眞 弘